



公明党
長谷部 竜作

議員

バイオマス事業について

問 市の山林面積と、占める割合はどのくらいか。

答 市長 市の面積が1万4千677ヘクタール、山林面積が4千471ヘクタール、サンブスギ林だけでは、1千268ヘクタールです。

問 山林の現状をどう捉えているか、また、どのような対策をとってきたか。

答 経済環境部長 林業の採算性の悪化、後継者不足等により、適切な森林経営がなされていない森林が増加していると考えています。この状況を踏まえ、森林整備によって発生した間伐材、地域残材等を搬入すれば、1トン3千円の助成を行う木の駅プロジェクトを平成24年度より実施しています。また、森林経営計画を策定、推進に努め、森林の健全な育成と林業の振興を図っているところです。

問 木の駅プロジェクトの現状はどうか。

答 経済環境部長 平成24年度の事業開始以来、4年間の総搬入量は3千706.2トンとなっています。集積材の利活用例としては、民間事業者が、サンブスギ産木質ペレットを製造、販売しており、平成27年度の実績で、年間約182トンの材を利用しています。

問 木の駅プロジェクトの今後の展開はどのように考えているか。

答 経済環境部長 民間事業者が木質ペレットとして活用している材の量の拡大を第一に考え、更に、新たな利活用事業の発掘、事業活路を見出せるよう、幅広く検討しています。

問 電力固定価格買取制度を利用して、山林整備をしようか。

答 経済環境部長 電力固定価格買取制

度を活用するには、森林経営計画対象森林からの材など様々な要件がありますが、1キロワット当たり32円プラス消費税という高価格で買い取っていただけです。現在、市内の山林の一部で、この制度を活用しています。

問 森林経営計画対象森林の面積はどうか。

答 経済環境部長 山林面積4千471ヘクタールのうち、森林経営計画対象面積は226.93ヘクタールで、策定率は5.1%です。

問 この制度を利用し、市有林を積極的に整備しようか。

答 総務部長 市有林の整備のため、千葉県森林組合が取り組んでいる森林経営計画への編入を進める必要があると考えています。現在、関係機関と編入に向けた協議を進めています。

問 調達目標と実績はどうか。

答 保健福祉部長 平成28年度の調達目標は、10万円以上です。過去3年間の調達目標と実績は、平成25年、目標が8万円、実績が8万1千900円、平成26年度が10万円以上、実績が10万100円、平成27年度が10万円以上、実績が13万2千787円となっています。

問 他の自治体と比べてどうか。

答 保健福祉部長 平成27年度、県内市町村別の調達実績の順位では、54市町村のうち37位、当初予算規模での調達率は44位と、低い状況です。

障がい者優先調達推進法について

問 調達を拡大するための課題は何か。

答 総務部長 大量購入を伴う物品の発注は難しいと思いますが、その他の物品や役務の提供等は可能であると考えます。市が必要とする物品等をこちらから提案し、その提供をいただくというところ、調達拡大につながる1つの方法ではないかと考えています。

問 推進員を配置してはどうか。

答 総務部長 本法律の趣旨を全庁的に認識することが重要であると考えています。提供する物品等の情報発信の頻度を増やすなどして、職員の意識の向上につなげていきます。



木の駅に集まった間伐材